

トヨタ紡織、ものづくり革新センターを新設

～ 将来の競争力確保に向け、「つながる工場」の具現化を推進 ～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、愛知県豊田市の^{さなげ}猿投工場内に「ものづくり革新センター」（2019年11月竣工予定）を新設します。

当社は、将来の競争力確保に向けて、工程革新を織り込んだ次世代ラインの構築や、「つながる工場」の実現に向けたIoTの導入に取り組んでおり、新設する「ものづくり革新センター」は、それを具現化するために必要なインフラを整えるものです。これにより、AI技術や自動化技術を活用した次世代ラインの構築、ものづくりの効率化、高度化を加速していきます。

センター名の「ものづくり革新」は、開発から生産技術、品質、工場までが連携し一体となった「ものづくり」を実践しつつ、将来を見据えた革新的な「ものづくり」を具現化していくという意味を込めています。

当社は、2018年、源流である「豊田紡織株式会社」創業から100年を迎えました。次の100年に向けて、成長をより確かなものにするため、様々な取り組みをスタートさせています。トヨタ紡織は、100年先も信頼される企業であり続けるために、自動車産業大変革への新たな挑戦に取り組んでまいります。

1. ものづくり革新センター新設のねらい

1) 将来に向けた生産技術開発の加速

AI技術、自動化技術などの工程革新を織り込んだ次世代ラインの構築、IoTの具現化、ものづくりの効率化、高度化を推進

2) グローバル生産技術情報センター機能の強化

グローバル全工場の生産技術・生産・品質情報を一元化し、設備トラブルや品質の予兆管理などを実施

3) 開発・生産技術・品質保証・工場の連携強化により、海外拠点に導入する型や設備の完成度を向上するなど生産準備の効率化、お客様第一の品質確保の取り組み強化

2. 建物の概要

- 1) 所在地 愛知県豊田市亀首町金山88番地（猿投工場内）
- 2) 建屋構造 地上5階建て（建屋面積 7,350㎡、延床面積 30,350㎡）
- 3) 建設期間 2018年11月着工、2019年11月竣工予定
- 4) 投資額 約68億円
- 5) 収容人数 450名



ものづくり革新センターの完成予想図

以上